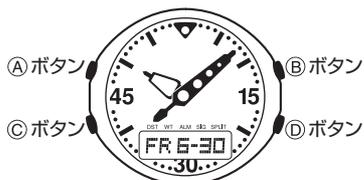


操作のしくみと表示の見方

●各部の名称

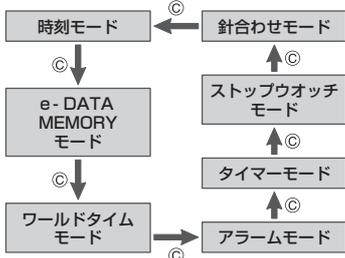


<時刻モード>

●モードの切り替え

ⓐ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

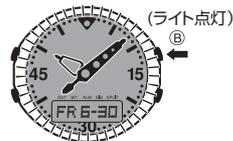
※ e- DATA MEMORYモードのまま2~3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。



ライト点灯について

セッ中で (表示点滅) 以外のどのモードのときでも、ⓑ ボタンを押すと、LED ライトが約 2 秒間点灯します。

→ 暗いところでも表示を見ることができます。

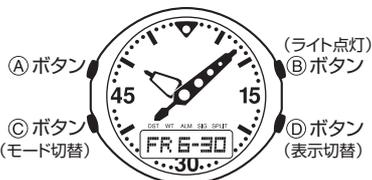


■ ご注意 ■

- 直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に ⓑ ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。

●各モードの表示の見方

時刻モード

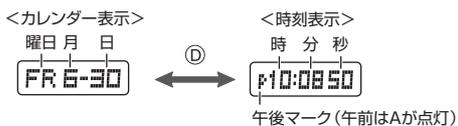


★曜日の見方

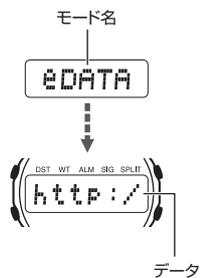
SU:日 MO:月
TU:火 WE:水
TH:木 FR:金
SA:土

★表示切替について

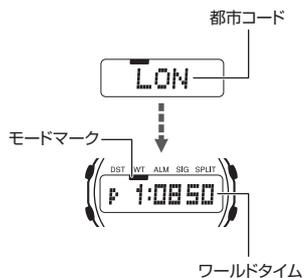
時刻モードのとき、ⓓ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。



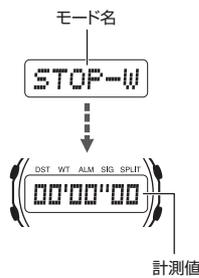
e- DATA MEMORYモード



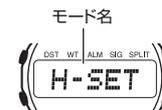
ワールドタイムモード



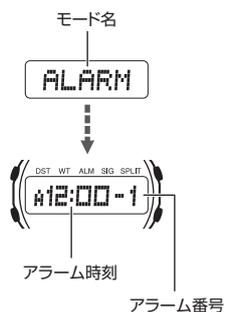
ストップウォッチモード



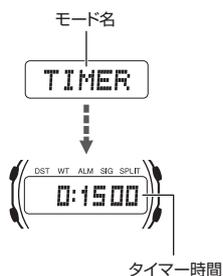
針合わせモード



アラームモード



タイマーモード



e - DATA MEMORY の使い方

◎ ボタンを押して、e - DATA MEMORYモードにします。

e - DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

※1件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。

- ・1件あたり63文字のデータを入力した場合、5件まで記憶できます(1件あたり64文字以上のデータは入力できません)。
- ・1件あたり7文字のデータを入力した場合、40件まで記憶できます(1件あたり6文字以下のデータでも記憶できる総件数は40件までとなります)。

※e - DATA MEMORYモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

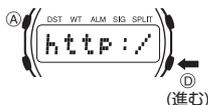
※パスワードを登録すると、モードを切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。

*パスワード機能については「パスワード機能について」参照。

データのサーチ

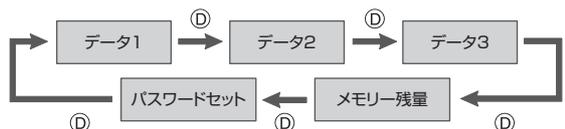
e - DATA MEMORYモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとにページが切り替わります。
※押し続けると早送ります。



※データ入力をしたページとメモリー残量、パスワードセットのページを表示します。
なお、データを1件も入力していないときは、メモリー残量とパスワードセットのページのみ表示します。

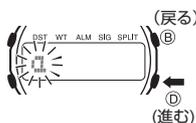
例) データを3件入力したとき



3. 点滅箇所をセットする

◎ または ◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、
◎ ボタンを押すごとに戻ります。
※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送ります。



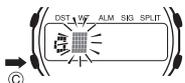
入力できる文字について

- 英小文字 a~z
- 英大文字 A~Z
- 数字 0~9
- 記号 * _ @ ` ^ ? # ! % . : ; ' , & = + ()

4. 桁を移動させる

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すと点滅箇所が右に1つ移動します。



◎ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、◎ または ◎ ボタンを押して文字を入力する操作を繰り返してデータを入力します。

5. セットを終わる

◎ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。
※続けて他のデータを入力したいときは、1.~5.の操作を繰り返し行ないます。
※データは入力した順に記憶していきます。

★表示の見方

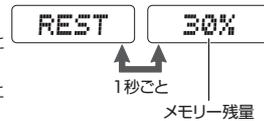
<データ表示>

※データを6文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます(データの最後に◀マークがつきます)。
◎ ボタンを押すと表示が止まり、もう一度◎ ボタンを押すと動きだします。



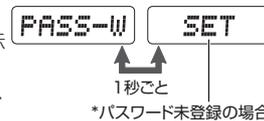
<メモリー残量表示>

※データを1件も入力していないときは、「100%」と表示されます。
※すでにメモリーいっぱい(30%)のデータが記憶されているときは、「0%」と表示されます。



<パスワードセット表示>

※パスワードを登録していないときは、「SET」と表示されます。
※すでにパスワードが登録されているときは、「CHANGE」と表示されます。



■ データを入力する

1. メモリー残量を表示させる

e - DATA MEMORYモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押して、メモリー残量を表示させます。

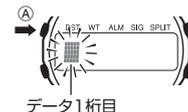
※すでにメモリーいっぱい(30%)のデータが記憶されているときは、不要なデータを消しておいてください。
*「データの消去」参照。



2. セット状態にする

◎ ボタンを約2秒間押します

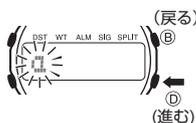
⇒データの1桁目が点滅します。



3. 点滅箇所をセットする

◎ または ◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、
◎ ボタンを押すごとに戻ります。
※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送ります。



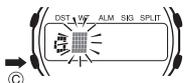
入力できる文字について

- 英小文字 a~z
- 英大文字 A~Z
- 数字 0~9
- 記号 * _ @ ` ^ ? # ! % . : ; ' , & = + ()

4. 桁を移動させる

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すと点滅箇所が右に1つ移動します。



◎ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、◎ または ◎ ボタンを押して文字を入力する操作を繰り返してデータを入力します。

5. セットを終わる

◎ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。
※続けて他のデータを入力したいときは、1.~5.の操作を繰り返し行ないます。
※データは入力した順に記憶していきます。

■ データの修正

1. 修正したいデータを選ぶ

e - DATA MEMORYモードのとき、◎ ボタンを押して修正したいデータを選びます

2. セット状態にする

◎ ボタンを約2秒間押します

⇒データの1桁目が点滅します。

3. データを修正する

◎ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、◎ または ◎ ボタンを押して正しい文字を表示させます。

4. セットを終わる

◎ ボタンを押して点滅を止めます

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ データの消去

1. 消去したいデータを選ぶ

e - DATA MEMORYモードのとき、◎ ボタンを押して消去したいデータを選びます

2. セット状態にする

◎ ボタンを約2秒間押します

⇒データの1桁目が点滅します。

3. データを消去する

◎ ボタンと ◎ ボタンを同時に押します

⇒「CLR」表示後、データが消去されます。
※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。



4. セットを終わる

◎ ボタンを押して点滅を止めます

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。
※データを消去すると、後ろのページが1ページずつ繰り上がります。

■パスワード機能について

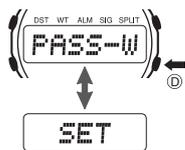
パスワード機能とは、4桁の番号を入れないとデータを呼び出せない機能です。他人に見られたくないデータ保存に便利です。

●パスワードの登録

1. パスワードセットのページにする

e- DATA MEMORY モードのとき、**ⓐ** ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押して、パスワードセットのページにします (右図)。



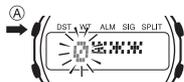
2. セット状態にする

ⓐ ボタンを約2秒間押します

→ パスワードの1桁目が点滅します。

※もう一度 **ⓐ** ボタンを押すと、点滅が止まり、登録を途中でやめることができます。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります(この場合、パスワードは登録されません)。



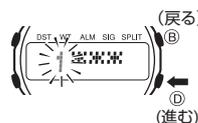
3. パスワードを入力する

a. 数字を入れる

ⓐ または **ⓑ** ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに点滅箇所が数字が進み、**ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **ⓐ**・**ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送りします。

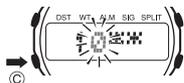


b. 桁を移動させる

ⓒ ボタンを押します

→ 点滅箇所が右に1つ移動します。

※数字を入力してから桁を移動させてください。



a. ~ b. の操作を繰り返して、パスワードを入力します

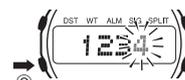
4. 4桁の番号を入力したら、

ⓒ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、登録完了です。

※4桁の番号を入力後、**ⓒ** ボタンを押さないとパスワードは登録されません。

※パスワード登録後、他のモードへ切り替えてから再び e- DATA MEMORY モードに戻ると、パスワード入力表示となります。



■ご注意

●パスワードを忘れると入力したデータを見ることができなくなります。パスワードは、別の形で書き留めておくことをおすすめします。

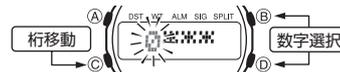
●パスワードの入力

パスワードを登録すると、e- DATA MEMORY モードに切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。



1. パスワード入力表示のとき、

登録時と同様に、「パスワードの登録」 a. ~ b. の操作を繰り返して、登録したパスワードを入力します



※数字を入力してから桁を移動させてください。

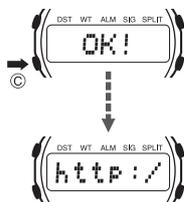
※ **ⓐ** ボタンを押すと、点滅が止まり、入力を途中でやめることができます。

2. 4桁の番号を入力したら、

ⓒ ボタンを押します

→ パスワードが合っているときは、「OK!」表示後、データを表示します。

→ パスワードが間違っているときは、「ERR」表示後、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。



●パスワードの変更

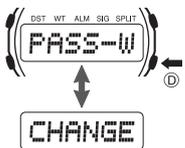
一度登録したパスワードは、変更することができます (パスワードを変更しても、データに影響はありません)。

準備: 「パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

1. パスワードセットのページにする

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押して、パスワードセットのページにします (右図)。



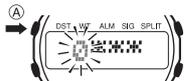
2. セット状態にする

ⓐ ボタンを約2秒間押します

→ パスワードの1桁目が点滅します。

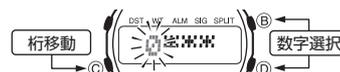
※もう一度 **ⓐ** ボタンを押すと、点滅が止まり、変更を途中でやめることができます。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。



3. 新しいパスワードを入力する

登録時と同様に、「パスワードの登録」 a. ~ b. の操作を繰り返して、新しいパスワードを入力します

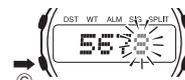


※数字を入力してから桁を移動させてください。

4. 4桁の番号を入力したら、

ⓒ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、変更完了です。



●パスワードの消去 (パスワード機能の解除)

準備: 「パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

1. パスワードセットのページにする

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押して、パスワードセットのページにします (右図)。

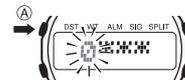


2. セット状態にする

ⓐ ボタンを約2秒間押します

→ パスワードの1桁目が点滅します。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。



3. パスワードを消去する

ⓐ ボタンと **ⓑ** ボタンを同時に押します

→ "CLR" 表示後、パスワードが消去 (パスワード機能が解除) されます。



ワールドタイムの使い方

③ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン（27都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市コードを表示後、その都市の時刻を表示します。

※時刻モードで基本時刻（ホームタイム）および都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

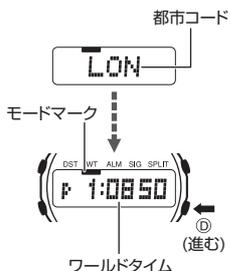
都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、③ ボタンを押します

→ ③ ボタンを押すごとに「都市コード」が進みます。都市コード表示後、その都市の時刻を表示します。

※押し続けると早送ります。

※都市コードのないタイムゾーンは、時差を表示します。



サマータイム (DST) について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

サマータイムの設定

1. ワールドタイムモードのとき、④ ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

2. ④ ボタンを約2秒間押します

→ DST ON マークが点灯して、サマータイム設定*になります。

*サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。



※DST ON マークが点灯しているときに、④ ボタンを約2秒間押すと通常の時刻に戻ります。

※各都市ごとにサマータイムの設定ができます。

※“GMT”表示のときは、サマータイム設定はできません。

都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---		-11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、ペイリート
HNL	ホノルル	-10	バペーテ	JRS	エルサレム	+3	クウェート、モスクワ
ANC	アンカレッジ	-9	ノーム	JED	ジェッダ	+3.5	アブダビ
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+4.5	
DEN	デンバー	-7	エルバ、エドモントン	DXB	ドバイ	+4	
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、メキシコシティ	KBL	カブール	+4.5	
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、マイアミ、ボストン	KHI	カラチ	+5	
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ	DEL	デリー	+5.5	
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、ブエノスアイレス	DAC	ダッカ	+6	
---		-2		RGN	ヤンゴン	+6.5	
---		-1	アプレス諸島	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
GMT		±0	<グリニッジ標準時>	HKG	ホンコン(香港)	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
LON	ロンドン	±0	ダブリン	TYO	東京	+9	ソウル、平壤
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリッド、フランクフルト	ADL	アデレード	+9.5	
				SYD	シドニー	+10	クアム
				NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2005年6月現在作成のものです。

※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

③ ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが5本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

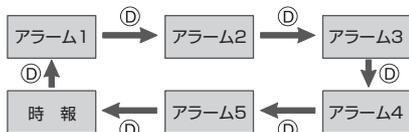
※アラーム・時報はデジタル部の基本時刻（ホームタイム）に合わせて鳴ります。

アラーム時刻のセット

1. アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、③ ボタンを押します

→ ③ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。



2. セット状態にする

④ ボタンを約2秒間押します

→ アラーム時刻の「時」が点滅します。

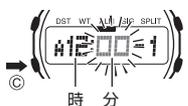
※このとき、アラームが自動的にONになり、アラームONマークが点灯します。



3. セット箇所を選ぶ

③ ボタンを押します

→ ③ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

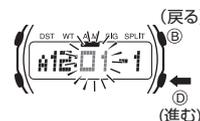


4. 点滅箇所のセット

④ または ⑤ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑤ ボタンを押すごとに戻ります。

※④・⑤ ボタンとも、押し続けると早送ります。



3.~4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

5. セットを終わる

④ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報のON/OFF設定

準備：アラームモードのとき、③ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

④ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに、マークが点灯/消灯します。それぞれのマークが点灯しているときにONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

モニターアラーム

アラームモードのとき、③ ボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

タイマーの使い方

③ ボタンを押して、タイマーモードにします。

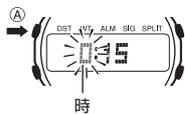
タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。

■タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、④ ボタンを約2秒間押しします

→タイマー時間の「時」が点滅します。



2. セット箇所を選ぶ

③ ボタンを押します

→③ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

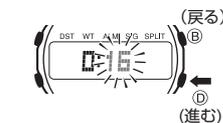


3. 点滅箇所のセット

① または ② ボタンを押します

→① ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、
② ボタンを押すごとに戻ります。

※①・② ボタンとも、押し続けると早送りします。



2～3.の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします。

※タイマー時間を24時間に設定するとき、表示を“0:00”にします。

4. セットを終わる

④ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

③ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、① ボタンを押します

→① ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



★計測中に④ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります（スプリットマーク点灯）。

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後④ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

① → ① → ④
スタート → ストップ → リセット

<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに① ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

① → ④ → ④ → ① → ④
スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット



●1・2着同時計測

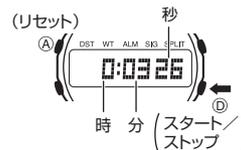
① → ④ → ① → ④ → ④
スタート → 1着ゴール → 2着ゴール → 2着タイム表示 → リセット
(1着タイム表示)

■タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、③ ボタンを押します

→③ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。



★計測ストップ後、④ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ロスタイムがあるときは、③ ボタンでストップ後、もう一度③ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。
※デジタル時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

■ デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方 (ホームタイム都市の設定)

1. セット状態にする

時刻モードのとき、**(A)** ボタンを約2秒間押します

→ 「秒」が点滅します。



2. 秒合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて **(D)** ボタンを押します

→ 「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります (時報は「時報サービス117番」が便利です)。



3. サマータイム (DST) の ON/OFF を選ぶ

(C) ボタンを押します

→ ONまたはOFFが点滅します。

※OFF = 通常時間
ON = サマータイム設定

(D) ボタンを押します

→ ONまたはOFFが切り替わります。



4. ホームタイム都市を選ぶ

(C) ボタンを押します

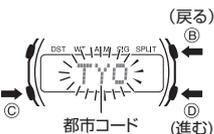
→ 「都市コード」が点滅します。

(D) または **(B)** ボタンを押します

→ **(D)** ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、**(B)** ボタンを押すごとに戻ります (「都市コード一覧」参照)。

※**(D)**・**(B)** ボタンとも、押し続けると早送りします。

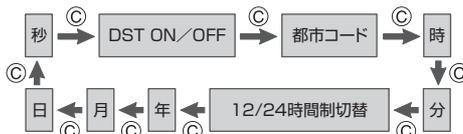
※ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。



5. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **(C)** ボタンを押します

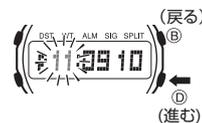
→ **(C)** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. **(D)** または **(B)** ボタンを押します

→ **(D)** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**(B)** ボタンを押すごとに戻ります。

※**(D)**・**(B)** ボタンとも、押し続けると早送りします。



a. ~ b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「12/24時間制切替」のときは、**(D)** ボタンを押すごとに12時間制表示「12H」と24時間制表示「24H」とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は00 (2000年) ~ 39 (2039年) の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

6. セットを終わる

(A) ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アナログ (針) 部の合わせ方

アナログ部とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備: **(C)** ボタンを押して、針合わせモードにします。

1. セット状態にする

(A) ボタンを約2秒間押します

→ 現在時刻が点滅して、セット状態になります。



2. **(D)** ボタンを押します

→ 針が正転方向 (進む方向) に進みますので、時刻を合わせます。

※**(D)** ボタンを押すと、1/3分 (20秒) 進みます。

※押し続けると早く進みます (針は逆方向には進みません)。

★ 針の自動早送り

(D) ボタンを押し続けている間、**(B)** ボタンを押すと、針が自動的に早く進みます。

※いずれかのボタンを押すと針が止まります。

※時針が一回りすると早送りが止まります。

3. セットを終わる

(A) ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。